株式会社イントランス

2027年３月期第１四半期 決算説明資料

2026年８月10日

目次　CONTENTS

1 2027/03 1Q事業実績 Page 3

2 2027/03 事業計画 Page 11

3 事業の状況 Page 15

4 補足情報 Page 18

1 2027/03 1Q事業実績
2 2027/03 事業計画
3 事業の状況
4 補足情報

エグゼクティブサマリー　EXECUTIVE SUMMARY

◆ 前年比で、全体売上は縮小、営業損失は拡大するが当期純損失は縮小

■ 不動産事業

- 宿泊施設の転売：１Ｑでの成立案件ないが、交渉中案件は２件、成立へ向け注力
- 不動産販売：１Ｑでの成立案件ないが、販売用不動産は２件あり、新規仕入とともに販売活動を継続
- セグメント数値：PM、工事等は縮小傾向にあり、売上縮小、営業利益は微増

■ ホテル運営事業

- 既存ホテル運営：１Ｑでの当期のホテル売上は減少、前期の大阪万博効果が剥落し大阪、京都が苦戦、沖縄は前期より回復
- ホテル運営権確保：１Ｑでの新規契約はなし、交渉案件の確保に向け注力
- セグメント数値：売上減少、コスト増で、全体固定費をカバーできず、営業損失は増加

■ その他事業

- 2026年７月よりGPUサーバ販売を開始（AIデータセンター事業）、受注に向け営業を推進
- インバウンド送客事業、投資事業は進展なし、事業拡大のための新規事業創出、M&Aへ注力

◆ 2027/03期の黒字化に向けた収益活動

■ 不動産事業：宿泊施設転売、販売用不動産の販売へ注力し、不動産事業の拡大を推進

■ ホテル運営事業：運営ホテルの収益改善、及び新規ホテル運営権の確保によりスケール化を推進

■ その他事業：AIデータセンター新規事業（GPUサーバ販売、AIデータセンター開発）の推進による着実な収益確保、さらに相乗効果高い事業会社へのM&A推進により、新規収益目指す

■ 資金調達の確保：2026年２月、7月に第三者割当資金（CB、新株予約権）の払い込みがあったが、これらの転換、行使がされやすいような環境づくりを目指す

連結決算ハイライト　ACCOUNTING INFORMATION

グループ連結概況（2027年３月期 第１四半期）

2027年３月期 第１四半期 連結業績

売上高	209百万円 （前年同期比 11.4%減）
営業損失	▲116百万円 （前年同期は87百万円の損失）
経常損失	▲77百万円 （前期は116百万円の損失）
親会社に帰属する当期純損失	▲77百万円 （前期は116百万円の損失）
1株当たり純損失	▲1.67円 （前期は2.51円の損失）
総資産	1,714百万円 （前期末 2,147百万円）
純資産	159百万円 （前期末 238百万円）
自己資本比率	7.1% （前期末 9.4%）

2027年３月期連結業績予想（2026年５月13日公表）　（百万円）

売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する当期純利益
3,344	120	45	34

セグメント別概況（2027年３月期 第１四半期）

不動産事業　不動産の売買、管理、仲介事業等

宿泊施設転売、インバウンド向け戸建宿泊施設の開発・販売へ注力、その他、PM事業、不動産賃貸事業を推進。

売上高　45百万円（前年同期比 2.2%減）　営業利益　1百万円（前年同期は1百万円の損失）

ホテル運営事業　宿泊施設の運営、運営受託等

運営ホテルの収益拡大、新規ホテルの運営権確保、新規ホテルのM&Aへ注力。

売上高　163百万円（前年同期比 13.6%減）　営業損失　▲15百万円（前年同期は9百万円の損失）

その他事業　AIDC、インバウンド送客、投資等

AIデータセンター事業は６月23日開始、その他、インバウンド送客事業、投資事業を推進

売上高　0百万円（前年同期は売上なし）　営業損失　▲4百万円（前年同期は6百万円の損失）

2027年３月期 第１四半期 連結実績 ACCOUNTING SETTLEMENT RESULT

■ 前年同期比で、不動産事業、ホテル運営事業ともに売上減少、**連結売上も減少**、
今後は交渉中の不動産案件クロージング、ホテルM&A推進によるホテル運営件数拡大へ注力

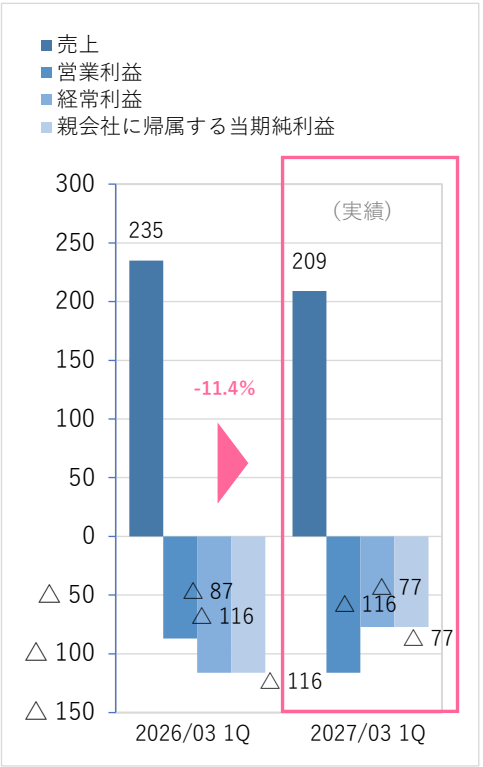
■ 前年同期比で、**不動産事業の営業利益は微増**、**ホテル運営事業の営業損失は拡大**、
連結営業損失は拡大するが、デリバティブ評価益計上等により経常損失、当期純損失は減少

（百万円）

	2026/03 1Q（実績値）	2027/03 1Q（実績値）	2027/03（期初通期予想）	前年比増減	期初予想数値の達成率
売上	235	209	3,344	- 26 - 11.4%	6.3%
営業利益	△ 87	△ 116	120	- 29 -	-
経常利益	△ 116	△ 77	45	+39 -	-
親会社に帰属する当期純利益	△ 116	△ 77	34	+39 -	-
一株当たり当期純利益（円）	△ 2.51	△ 1.67	0.74	+0.84 -	-

（百万円）

過年度収益推移（連結合計）



2027年３月期 第１四半期 セグメント実績 BUSINESS SEGMENT RESULT

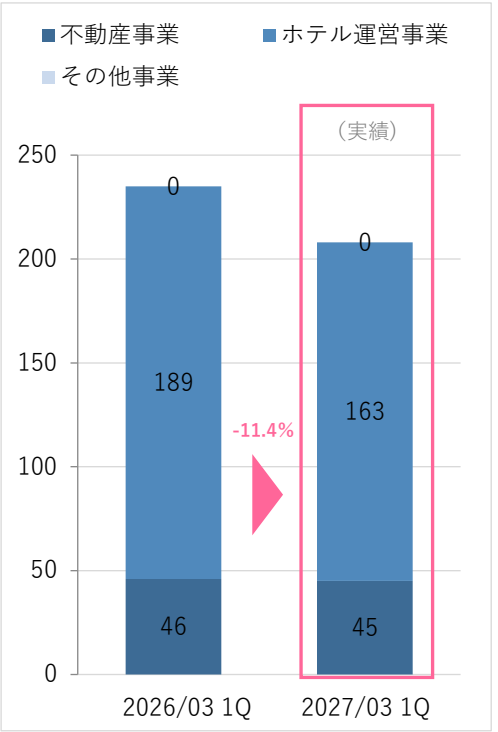
■ 不動産事業：1Qで宿泊施設転売、不動産販売はなく、前年同期比で**売上は微減、営業利益は微増**、PM収益、工事収益の減少により1Qでの収益拡大なく、2Q意向で挽回予定
■ ホテル運営事業：前期の大阪万博効果剥落で、**ホテル売上は減少**、一方、コスト増加により、**営業損失は拡大**
■ その他事業：6月23日よりAIデータセンター事業部発足するが1Qで収益効果なし、インバウンド送客事業、投資事業では特に進捗なく、収益貢献なし

（百万円）

	2025/03（実績値）	2026/03（実績値）	2027/03（通期予想）	前年比増減	期初予想数値の達成率
連結売上	235	209	3,344	- 26 - 11.4%	6.3%
不動産事業	46	45	2,068	- 1 - 2.2%	2.2%
ホテル運営事業	189	163	1,153	- 26 - 13.6%	14.1%
その他事業	0	0	123	+0 -	0.0%
営業利益	△ 87	△ 116	120	- 29 -	-
経常利益	△ 116	△ 77	45	+39 -	-
親会社に帰属する当期純利益	△ 116	△ 77	34	+39 -	-
一株当たり当期純利益（円）	△ 2.51	△ 1.67	0.74	+0.84 -	-

（百万円）

過年度収益推移（連結合計）



2027年３月期 第１四半期 セグメント情報 SEGMENT SALES INFORMATION

（不動産事業）

■ 宿泊施設の転売、不動産販売なく、売上はPM売上、工事売上、賃料売上のみで限定的

■ 宿泊施設の転売、不動産販売営業、仕入活動を行い、2Q以降収益のための活動へ注力

■ セグメント数値は、売上減少、営業利益微増となった

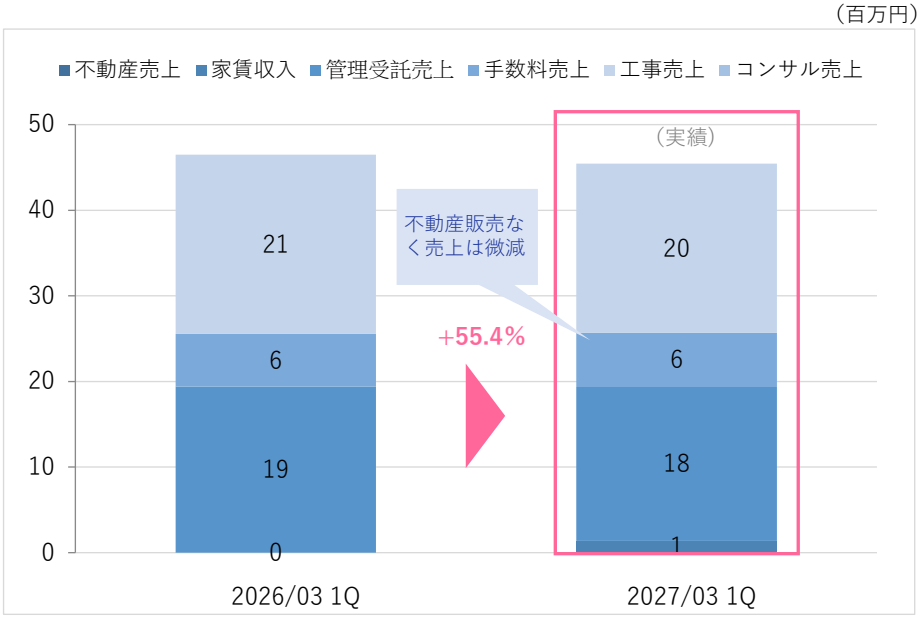
（ホテル運営事業）

■ 運営ホテルの売上は減少（前期の大阪万博需要剥落で大阪・京都が苦戦、沖縄は好調）

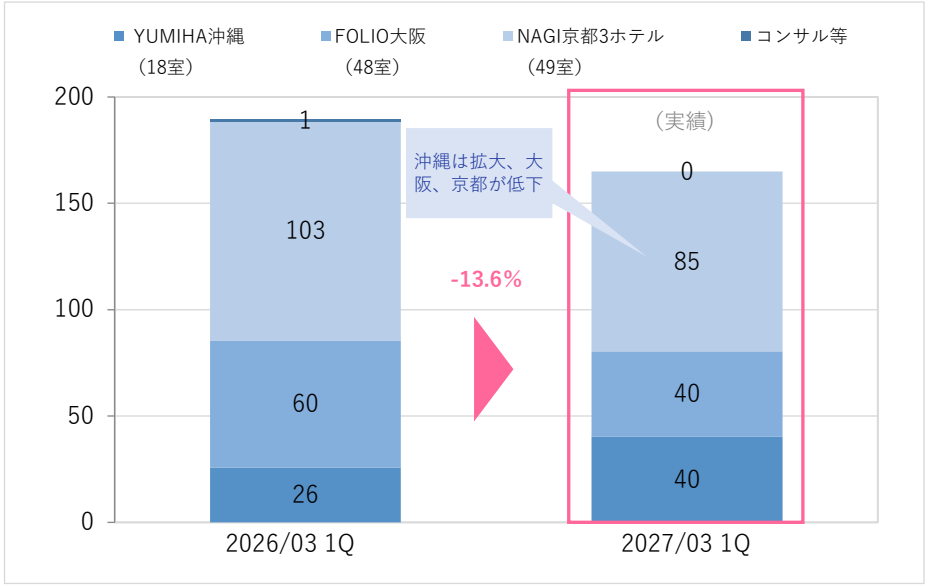
■ 新規ホテルM&A、既存ホテル運営権獲得の活動を行い、2Q以降収益のための活動へ注力

■ セグメント数値は、売上減少、営業損失拡大となった

不動産事業 前期との売上比較



ホテル運営事業 前期との売上比較



2027年３月期 第１四半期 財務状況推移 B/S TREND SUMMARY

■ 資産は前期末比で減少（ 税引前損失、社債償還等）
■ 負債は前期末比で減少（社債償還、株主優待引当金減少、デリバティブ債務減少等）
■ 純資産は前期末比で減少（税引前損失による減少等）

貸借対照表の概要（2026年3月末との比較）

（百万円）

	2026/03末	2027/03 1Q	増減	主な増減要因
現金及び預金	1,504	1,114	△ 390	■税引前損失による減少
売掛金及び契約資産	81	57	△ 24	
販売用不動産	123	123	0	
その他棚卸資産	1	0	△ 1	
預け金	0	222	222	■自社株価予約取引資産の長短移動
その他	62	30	△ 32	
貸倒引当金	△ 0	△ 0	0	
流動資産合計	1,773	1,549	△ 224	
有形固定資産	4	6	2	
無形固定資産	6	5	△ 1	
投資その他の資産				
投資その他資産	428	219	△ 209	■自社株価予約取引資産の長短移動
貸倒引当金	△ 70	△ 70	0	
投資その他の資産合計	358	149	△ 209	
固定資産合計	369	161	△ 208	
繰延資産合計	4	3	△ 1	
資産合計	2,147	1,714	△ 433	

	2026/03末	2027/03 1Q	増減	主な増減要因
買掛金	3	2	△ 1	
１年以内償還予定の社債	260	0	△ 260	■社債の償還による減少
１年以内返済予定の長期借入金	1	0	△ 1	
賞与引当金	6	4	△ 2	
株主優待引当金	37	0	△ 37	
デリバティブ債務	0	58	58	■自社株価予約取引負債の長短移動
その他	173	162	△ 11	
流動負債合計	481	228	△ 253	
転換社債型新株予約権付社債	1,309	1,327	18	■転換社債の発行差金計上
ディリバティブ債務	117	0	△ 117	■自社株価予約取引負債の長短移動
固定負債合計	1,427	1,327	△ 100	
負債合計	1,908	1,555	△ 353	
資本金	1,444	1,444	0	
資本剰余金	1,214	1,214	0	
利益剰余金	△ 2,440	△ 2,517	△ 77	■税引前損失による減少
自己株式	△ 2	△ 2	0	
株主資本合計	216	138	△ 78	■税引前損失による減少
その他の包括利益合計	△ 14	△ 16	△ 2	
新株予約権	37	37	0	
純資産合計	238	159	△ 79	
負債純資産合計	2,147	1,714	△ 433	
自己資本比率（%）	9.4%	7.1%	-2.3%	■税引前損失による減少

1 2027/03 1Q事業実績
2 2027/03 事業計画
3 事業の状況
4 補足情報

2027年３月期の事業計画

2026年3月期は、中長期成長のための活動（アパートメントホテルの運営権確保）では一定の成果があったが、短中期における収益基盤を確立できず、予算は大幅未達

上記の結果、2026年３月期は、４ヵ年連続で赤字計上、大幅下方修正

このため、2027年3月期については、既存事業+新規事業にて、収益確保へ注力し、黒字化定着を目指す

■ 連結数値目標：売上3,344百万円、営利120百万円、経常45百万円、純利益34百万円、親会社株主純利益34百万円

■ 不動産事業：売上2,068百万円、営業利益342百万円
（戸建旅館５件販売、旅館転売２件、PM収益前期比確保）

■ ホテル運営事業：売上1,153百万円、営業利益8百万円
（既存ホテル収益増 ＋ 新規旅館運営２件）

■ その他事業：売上123百万円、営業利益89百万円
（AIデータセンター事業他）

■ 上記の事業活動により、2027年3月期の黒字化、予算数値（業績予想数値）の達成を目指す

2027年３月期　連結予想　CONSOLIDATED REVENUE FORECAST

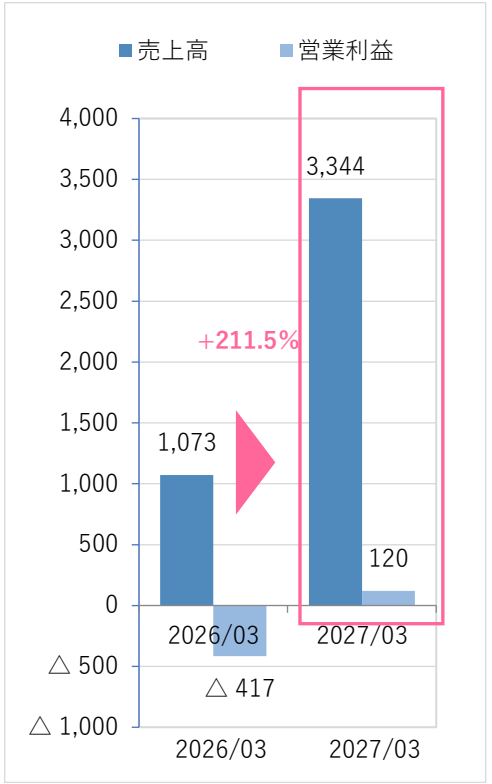
■ 2027年３月期は、**不動産事業の不動産販売増加**、**ホテル運営事業の運営数拡大**により既存事業の収益拡大を目指す
■ また、**新規事業であるAIデータセンター事業、その他M&A**により収益拡大を目指す
■ 上記により、2027年３月期については、**収益大幅拡大及び黒字化必達**で事業を推進する

（百万円）

	2026/03	2027/03			要因
	（実績値）	（計画値）	（増減額）	（増減率）	
売上高	1,073	3,344	2,271	211.5%	■ 宿泊施設転売等、戸建旅館販売増加 ■ 新規旅館運営増加、新規事業投資
営業利益	△ 417	120	537	-	■ 不動産収益、ホテル収益増加 ■ 新規投資収益増加
（営業利益率）	△ 38.8%	3.6%	42.5%	-	
経常利益	△ 499	45	544	-	
（経常利益率）	△ 46.5%	1.3%	47.8%	-	
親会社に帰属する当期純利益	△ 501	34	535	-	
（当期純利益率）	△ 46.7%	1.7%	48.4%	-	
1株当たり純利益	△ 10.78	0.74	11.52	-	

（百万円）

今期予想収益（連結合計）



2027年３月期　セグメント別予想　SEGMENT REVENUE FORECAST

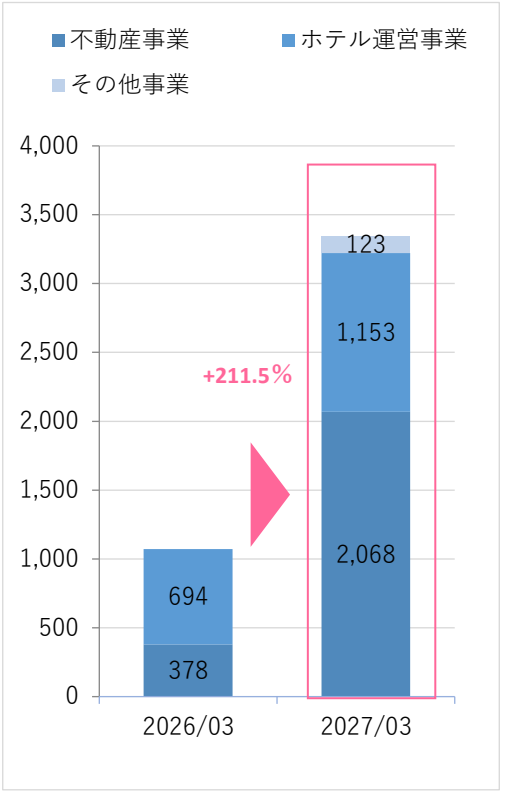
■ 不動産事業：これまで進めてきた「宿泊施設の転売」、「戸建宿泊施設の開発・売却」への注力により、大幅収益拡大を目指す
■ ホテル運営事業：「既存ホテル運営収益の拡大」及び「新規ホテル運営件数の拡大」により、事業スケールメリットによる収益拡大を目指す
■ その他事業： AIデータセンター事業、M&A推進により、新たな収益による事業拡大を目指す

（百万円）

	2026/03	2027/03			要因
	（実績値）	（計画値）	（増減額）	（増減率）	
売上高	1,073	3,344	2,271	211.5%	
不動産事業	378	2,068	1,689	446.0%	■ 宿泊施設転売、戸建旅館販売の増加
ホテル運営事業	694	1,153	459	66.1%	■ 新規旅館の運営増加
その他事業	0	123	122	-	■ 新規事業による収益増加（M&A等）
営業利益	△ 417	120	537	-	
不動産事業	30	342	311	1,005.9%	
ホテル運営事業	△ 54	8	62	-	
その他事業	△ 23	88	111	-	
（営業利益率）	△ 38.8%	3.6%	42.5%	-	

（百万円）

今期予想収益（連結合計）



1 2027/03 1Q事業実績
2 2027/03 事業計画
3 事業の状況
4 補足情報

事業進捗状況／不動産事業　BUSINESS PROGRESS/Estate Business

■ 不動産事業では、プロパティマネジメントの収益改善を目指す
■ １Ｑでは、宿泊施設転売、戸建旅館開発・販売はなかったが、２Ｑ以降で交渉中案件の成立、収益化を目指す
■ 不動産案件は収益率が高いため、2027年3月期の予算達成のためには本事業の成立が必須
■ 現在交渉中の不動産案件は、以下パイプラインにて記載

事業パイプライン／不動産事業（現在、確定済及び商談中の案件）

No.	案件名	所在地（開発予定地）	商品・サービス特性	貢献利益（年間/見込）	開始/決済 目標時期	状況
（確定済）						
-	-	-	-	-	-	-
（未確定）						
1	インバウンド施設開発	東京都練馬区	戸建のインバウンド向け宿施設の開発・販売	30百万円	2027/03期中	仕入済・施設運営中
2	インバウンド施設開発	東京都北区	戸建のインバウンド向け宿施設の開発・販売	30百万円	2027/03期中	契約済・開発中
3	不動産仲介	沖縄県	ホテル開発用地の仲介	60百万円	未定	交渉中
4	不動産仲介	中板橋	宿泊施設の仲介	5百万円	2027/03期中	交渉中
5	不動産売買	東北	宿泊施設不動産の転売	200百万円	2027/03期中	交渉中
6	不動産売買	神奈川県	宿泊施設不動産の転売	200百万円	2027/03期中	交渉中
（終了又はロスト）						
-	-	-	-	-	-	-

＊1：案件により収益認識（営業利益、営業外利益、特別利益等）が異なる可能性があるため、貢献利益と表記しています。

＊2：上記情報は、営業状況により適宜更新しています。

事業進捗状況／ホテル運営事業　BUSINESS PROGRESS/Hotel Business

■ ホテル運営事業では、既存ホテルの運営の他、**新規ホテル・旅館の運営権確保に注力**
■ １Ｑでは、新規運営案件は成立しなかったが、２Ｑ以降で交渉中案件の成立、運営による収益化を目指す
■ ホテル運営権の契約活動では、収益認識が来期以降となる開発型ホテルのみではなく、**既存運営ホテルのM&A、運営権確保へ注力**
■ 現在交渉中のホテル運営案件は、以下パイプラインにて記載

事業パイプライン／ホテル運営事業（現在、確定済及び商談中の案件）

No.	案件名	所在地（開発予定地）	ブランド	室数	売上高（年間/実績又は見込）	営業利益（年間/見込）	開業時期	状況
（確定済）								
1	ホーム・ステイ・ユミハ沖縄	沖縄県国頭郡	HOMM（BANYAN）	18室	100百万円	-	開業中（2022年7月開業）	営業中
2	フォリオ・サクラ・心斎橋大阪	大阪府大阪市	FOLIO（BANYAN）	48室	150百万円	-	開業中（2023年7月開業）	営業中
3	ホーム・ステイ・椛 三条 京都	京都府京都市	HOMM（BANYAN）	28室	330百万円	-	開業中（2024年4月連結化）	営業中
4	ホーム・ステイ・椛 四条 京都	京都府京都市	HOMM（BANYAN）	12室				
5	ホーム・ステイ・椛 嵐山 京都	京都府京都市	HOMM（BANYAN）	9室				
6	北広島ボールパーク（アパートメントホテル）	北海道北広島市	BANYAN	約190室	2,000百万円	250百万円	2027年夏～秋開業予定、着工済	リース合意書締結済み（2023年秋）
7	札幌ススキノ（アパートメントホテル）	北海道札幌市	今後選定	約130室	1,500百万円	100百万円	2027年夏～秋開業予定、着工済	リース合意書締結済み（2024年秋）
8	河口湖（アパートメントホテル）	山梨県富士河口湖町	今後選定	約70室	900百万円	60百万円	2027年夏～秋開業予定、着工済	リース合意書締結済み（2025年春）
（未確定）								
9	ホテル運営権	沖縄県	-	26室	500百万円	20百万円	開業時期未定	交渉中
10	ホテル運営権	栃木県	-	15室	250百万円	10百万円	開業中	交渉中
12	ホテル運営権	東北	-	100室	550百万円	30百万円	開業中	交渉中
13	ホテル運営権	神奈川県、他	-	300室	3,000百万円	当初見込みは利益なし	開業中	交渉中
（終了又はロスト）								
-	-	-	-	-	-	-	-	-

＊1：ホテル毎の営業利益率が異なる理由は、ホテル運営の契約スキームが異なることによる。
＊2：上記情報は、営業状況により適宜更新しています。

1 2027/03 1Q事業実績

2 2027/03 事業計画

3 事業の状況

4 補足情報

当社グループ運営ホテル（運営予定ホテルを含む）　GROUP FACIRITIES

INTRANCE
Intelligence·Trust·Perseverance

沖　縄

Homm Stay Yumiha Okinawa（沖縄恩納村）

（賃貸借運営）

沖縄 恩納村に構える高級
ヴィラホテル
（18室）

京　都

Homm Stay Nagi Sanjo Kyoto（京都三条）

（賃貸借運営）

京都の嵐山、三条、四条に
構えるブティックホテル。
（3棟合わせ49室）

Homm Stay Nagi Shijo Kyoto（京都四条）

Homm Stay Nagi Arashiyama Kyoto（京都嵐山）

大　阪

Folio Sakura Shinsaibashi Osaka（大阪心斎橋）

（賃貸借運営）

大阪心斎橋の好立地の
高級ビジネスホテル
（48室）

北海道(2027年開業予定)

*ホテル名未定

（賃貸借運営）

北海道ボールパークFビレッジ内のエスコン
フィールドに隣接する大型ホテル
（183室）

北海道(2027年開業予定)

*ホテル名未定

（賃貸借運営）

北海道札幌市すすき野地区に位置する大型の
都市型ホテル
（126室）

山梨県(2027年開業予定)

*ホテル名未定

（賃貸借運営）

富士河口湖町に位置する大型のリゾートホテル
（71室）

主要な経営指標の推移（連結）

（千円）

	2023年3月（第25期）	2024年3月期（第26期）	2025年3月期（第27期）	2026年3月期（第28期）	2027年3月期１Q（第29期）
損益計算書					
売上高	598,187	1,292,217	825,023	1,073,740	209,026
営業損益	△ 416,169	△ 154,220	△ 352,518	△ 417,123	△ 116,808
経常損益	△ 471,007	△ 162,432	△ 429,247	△ 499,148	△ 77,288
当期純利益	△ 493,412	△ 139,905	△ 432,377	△ 501,362	△ 77,676
親会社株主に帰属する当期純損益	△ 493,412	△ 139,905	△ 432,377	△ 501,362	△ 77,676
包括損益	△ 494,145	△ 143,131	△ 437,915	△ 503,514	△ 79,525
貸借対照表					
純資産額	692,706	860,453	735,729	238,643	159,118
総資産額	1,181,012	1,158,001	1,059,346	2,147,109	1,714,373
キャッシュフロー計算書					
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 587,342	281,367	△ 391,619	△ 502,241	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 148,747	34,536	△ 238,399	△ 68,570	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 47,598	121,995	276,309	1,540,278	-
現金及び現金同等物の期末残高	452,415	890,040	535,806	1,504,881	-
財務データ					
自己資本比率(%)	56.2	70.8	66.5	9.4	7.1
自己資本利益率(%)	△ 74.4	△ 18.9	△ 56.7	△ 110.7	△ 63.8
１株当たり当期純利益又は当期純損失(円)	△ 13.31	△ 3.74	△ 9.37	△ 10.78	△ 1.67
１株当たり純資産額(円)	17.90	19.68	15.16	4.33	2.62

会社概要（2026年６月23日現在）

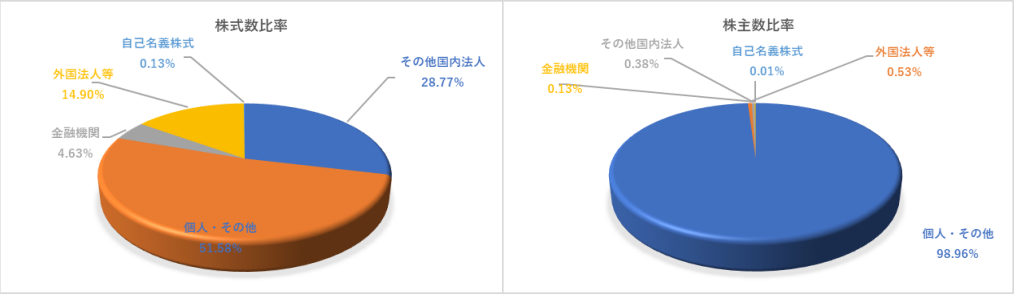
商号	株式会社 イントランス
代表者	代表取締役社長　何　同璽
設立	1998年5月1日
所在地	〒150-0043　東京都渋谷区道玄坂一丁目16番5号 大下ビル9階
資本金	1,444,427千円
上場証券取引所	東京証券取引所 グロース市場（証券コード：3237）
従業員	133名（連結）
事業内容	不動産事業 ホテル運営事業 ＡＩデータセンター事業 その他事業
適格請求書発行事業者登録番号	T5-0110-0103-0534
許認可等	宅地建物取引業 【東京都知事（2）第105555号】 賃貸住宅管理業 【国土交通大臣（1）第7482号】 第二種金融商品取引業 【関東財務局長（金商）第1732号】 旅行サービス手配業 【東京都知事 第20725号】
加盟団体	（社）全国宅地建物取引業保証協会 （社）第二種金融商品取引業協会 （社）日本投資顧問業協会

役員（2026年６月23日現在）

役員	代表取締役社長	何　同璽
	取締役	須藤　茂
	取締役（社外）	仇　非
	取締役（社外）	小佐野　匠
	常勤監査役	平田　邦夫
	監査役（社外）	上床　竜司
	監査役（社外）	杉田　定大

株式の状況（2026年３月31日現在）

発行可能株式総数	115,200,000株
発行済株式の総数	46,552,784株
株主数	19,528名



大株主の状況（上位10名）（2026年３月31日現在）

順位	株主名	持株数(株)	議決権比率	所有比率	発行済-自己株
1	ディライトワークス株式会社	6,660,000	14.33%	14.31%	14.32%
2	SCBHK A/C GF SEC CLIENT A/C 1	3,836,384	8.25%	8.24%	8.25%
3	BNP Paribas London Branch for Prime Brokerge Clearance ACC for third party	1,800,000	3.87%	3.87%	3.87%
4	WORLDTEX INVESTMENT LIMITED	1,555,400	3.35%	3.34%	3.35%
5	楽天証券株式会社	1,076,200	2.32%	2.31%	2.31%
6	INTERACTIVE BROKERS LLC	838,700	1.80%	1.80%	1.80%
7	SBI証券株式会社	794,296	1.71%	1.71%	1.71%
8	株式会社ファインドスターグループ	660,000	1.42%	1.42%	1.42%
9	個人株主	522,000	1.12%	1.12%	1.12%
10	個人株主	380,000	0.82%	0.82%	0.82%
	合計	18,122,980	38.99%	38.93%	38.98%

免責事項　DISCLAIMER

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。このような将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の結果や業績は、将来予想に関する記述によって明示的又は黙示的に示された将来の結果や業績の予測とは大きく異なる可能性があります。
これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内及び国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいております。

当社では、以下の公式SNSページを公開しております。SNSでは、様々な話題やサービス等を発信してまいります。

https://www.facebook.com/intrance.press

https://www.instagram.com/intrance.press/

https://twitter.com/intrance_press

https://www.tiktok.com/@intrance.press

https://note.com/intrance_press/

IRに関する情報掲載

https://intrance.jp/irinfo/

IRに関するお問い合わせ

株式会社イントランス　管理部　コーポレートコミュニケーション課
お電話でのお問い合わせ： 03-6803-8100
コーポレートページより：
https://intrance.jp/contact/